平成１７年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） ３０２ ※記入不要	提案機関名	環境農政部　農地課　水利整備班
	住　　所： 担当者名： 電話番号：　　ＦＡＸ番号：	

要望問題

農業用取水堰に設置された魚道の効果算定

要望問題の内容　【　背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

《背景》魚類の遡上を容易にし、河川の生態系保全を図るため、河川に設置している農業用取水堰にある魚道の新設・改修を行う事業を実施しているが、その定量的な評価については知見が乏しく、適正な工法や位置について判断が困難な状況である。

《内容》河川に設置された農業用取水堰の魚道において、魚類等の遡上状況（種類・時期別、時間別数量・魚道タイプ別の数量）を把握し、それぞれの農業用取水堰（位置・規模）、河川毎の対象魚種等によって、どの工法が最適か効果算定を行う。

《対象地域及び規模など》

相模川：	磯部頭首工	所在地　相模原市磯部地先	魚道延長	L=100m、L=102m	２基
	小沢頭首工	所在地　愛川町小沢地先	魚道延長	L=26.0m	１基
中津川：	昭和頭首工	所在地　厚木市妻田地先	魚道延長	L=35.7m　L=87.3m	２基
酒匂川：	栢山頭首工	所在地　大井町金手地先	魚道延長	L=43.5m	１基

解決希望年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
研究対応区分	①研究所対応　②委託研究　③共同研究　④その他
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（ ②根府川試験場　③三浦試験場　④津久井試験場 ） ⑤畜産研究所　⑥水産総合研究所（ ⑦内水面試験場　⑧相模湾試験場 ） ⑨自然環境保全センター

※　ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産総合研究所内水面試験場
部　　署：水域環境	
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	（①、②、④の場合） 水域環境研究（生態系復元研究）

対応の内容等

県下内水面水域の環境悪化のため、多くの淡水魚は分布域が縮小、個体数も減少し、絶滅に瀕している魚種も多い。そのため、内水面試験場では、淡水魚の生息環境を保全・復元する研究に取り組んでいる。その中で土木事務所等の河川管理者とも連携し、多自然型護岸や魚道の設置についての助言・指導の他、一部の地域では関係の魚類調査も実施してきた。今回要望のあった農業関係の魚道についても、その効果について検討したい。まとまった成果を求めるならば、委託研究というかたちでの研究が望ましい。

解決予定年限	①１年以内　②２～３年以内　③４～５年以内　④５～１０年以内
備　考	